

摂津市議会

駅前等再開発特別委員会記録

令和5年12月8日

摂津市議会

目 次

駅前等再開発特別委員会

12月8日

会議日時、場所、出席委員、説明のため出席した者、出席した議会事務局職員、 審査案件-----	1
開会の宣告-----	2
市長挨拶	
委員会記録署名委員の指名-----	2
議案第68号所管分の審査-----	2
質疑（南野直司委員、嶋野浩一朗委員）	
採決-----	5
閉会の宣告-----	5

駅前等再開発特別委員会記録

1. 会議日時

令和5年12月8日（金） 午前 9時59分 開会
午前10時17分 閉会

1. 場所

第二委員会室

1. 出席委員

委員長 塚本 崇 副委員長 弘 豊 委員 南野直司
委員 三好 義治 委員 嶋野浩一郎

1. 欠席委員

なし

1. 説明のため出席した者

市長 森山 一正 副市長 福渡 隆
建設部長 武井 義孝 都市計画課長 杉山 剛
連続立体交差推進課長 藤井 芳明 同課参事 大谷 祐介

1. 出席した議会事務局職員

事務局次長 大西 健一 同局主査 松木 愛

1. 審査案件

議案第68号 令和5年度摂津市一般会計補正予算（第7号）所管分

(午前 9時59分 開会)

○塚本崇委員長 それでは、ただいまから駅前等再開発特別委員会を開会いたします。

まず、理事者から挨拶を受けます。

森山市長。

○森山市長 おはようございます。本会議、そして、各常任委員会に続きまして、本日は駅前等再開発特別委員会をお持ちいただきまして大変ありがとうございます。

本日は本会議で当委員会に付託されました案件についてご審査をいただきます。何とぞ慎重審査の上、ご可決いただきますようよろしくお願いいたします。

○塚本崇委員長 挨拶が終わりました。本日の委員会議録署名委員は南野委員を指名いたします。

暫時休憩いたします。

(午前10時 休憩)

(午前10時1分 再開)

○塚本崇委員長 再開いたします。

議案第68号所管分の審査を行います。補足説明を求めます。

武井建設部長。

○武井建設部長 議案第68号、令和5年度摂津市一般会計補正予算(第7号)のうち、建設部が所管しております事項につきまして補足説明をさせていただきます。

まず補正予算書8ページをお開きください。

第4表、債務負担行為の補正、下段の表(変更)のうち、千里丘駅西地区再開発事業(令和5年度)は、現在、実施中の解体工事におきまして、アスベスト調査の結果、アスベスト処分等に係る費用の増額などが見込まれることから、限度額を変更するものでございます。

次に、歳入でございます。

補正予算書18ページ、款16府支出金、項3委託金、目2土木費委託金は、国からの補助金の確定に伴い、阪急京都線の連続立体交差事業調査委託金を補正するものでございます。

続きまして、歳出でございます。

44ページ、款7土木費、項4都市計画費、目2街路事業費のうち、阪急京都線連続立体交差事業に係る工事請負費や、46ページ、物件移転等補償費など国からの補助金の確定に伴い補正するものでございます。

以上、建設部の所管いたします補正予算の補足説明とさせていただきます。

○塚本崇委員長 説明が終わりました。

質疑に入ります。

南野委員。

○南野直司委員 おはようございます。

千里丘駅西地区再開発、そして、阪急京都線連続立体交差事業の議案第68号、補正予算の中身は部長から説明がありました。この際、それぞれ千里丘駅西地区再開発と連続立体交差事業の中身を1点ずつお聞きします。ホームページ等々で、千里丘駅西地区再開発は、事業計画を見ますと総事業費が258億円とお示しいただいております。そして、連続立体交差事業の総事業費が432億円だったと思うんです。

市民にこの総事業費について、それぞれ、連続立体交差事業でしたら、摂津市は大体これぐらい見込んで、茨木市、阪急電鉄はこれぐらい、大阪府はこれぐらいと、分かりやすく市民へ千里丘駅西地区再開発も含めて基盤整備等々、摂津市はこれぐらいの予算を見込んでいますとお示ししていくのが非常に重要です。ホームページ等々を通じて、たしかチューブにも総事業

費が出ていたと思います。その考えをお聞かせいただきたい。

以上です。

○塚本崇委員長 答弁を求めます。

杉山課長

○杉山都市計画課長 それでは、南野委員のご質問にお答えいたします。

総事業費の分かりやすい示し方です。現在、事業計画の中で資金計画を示しております。委員がご指摘のとおり、少し項目が分かりにくくなっている状況にあるかと思えます。この点につきましては、今後、分かりやすく、進捗状況も併せて示していきたいと考えております。

以上でございます。

○塚本崇委員長 藤井課長。

○藤井連続立体交差推進課長 それでは、連続立体交差事業に関するご質問に答弁申し上げます。

連続立体交差事業につきましては、総事業費432億円のうち、国、市と阪急電鉄で、負担割合を決め、今おっしゃったように、どういう形になっていくのか、市民にしっかり事業の進捗状況と併せて情報提供をすることは重要だと思っております。事業主体は大阪府でございますので、調整しながら、こういった開示のやり方ができるかは検討してまいりたいと考えております。

○塚本崇委員長 南野委員。

○南野直司委員 分かりました。ありがとうございます。今、国会でも、大阪関西万博の事業費でいろいろ議論されております。市民は結構、その辺を見ておられます。ホームページを開きましたら、千里丘駅西地区再開発、それから連続立体交差事業で事業費がこれぐらいかかると分かりやすくお示しいただければ丁寧と思えます。ど

うかよろしく申し上げます。

以上です。

○塚本崇委員長 嶋野委員。

○嶋野浩一郎委員 まずは千里丘駅西地区再開発についてお聞きをします。今、武井部長から冒頭にご説明をいただきました。解体した結果、アスベストの処分が出てきたというお話でした。当初からこのアスベストが解体によって出てくると想定をされておられたのか、単純に気になるので、お聞かせいただきたい。よろしく願いいたします。

それと、連続立体交差事業です。今回の補正予算を拝見しておりますと、大方、減額補正となっているわけです。この内容は、今、いろいろと土地の購入であるとか交渉する中で、若干その遅れが発生しているという理解でいいのか、お聞かせいただきたい。よろしく願いをいたします。

それから、補正予算書の47ページ、支障物移転等の一定の補償費1,500万円が減額になっています。お話をお聞きしていると、この支障物件等の移転については、基本は大阪府で費用を出していくということです。ただ、水道管であるとか、摂津市として設置をしたインフラの減耗分については、設置者が出していくというお話だとお聞きをしておりました。そういったことを想定し当初予算を組まれ、今回、減額補正になったと思えます。詳しい内容を聞かせていただきたい。よろしく願いいたします。

○塚本崇委員長 杉山課長。

○杉山都市計画課長 それでは、千里丘駅西地区再開発事業に関わりますご質問にお答えいたします。

アスベストの当初の想定でございます。解体工事の対象となります建物が木造4

7棟、鉄骨造16棟、コンクリート造2棟の建物がございまして、この建物の内装部分につきましては、当初アスベストがあるものとみなして設計をいたしておりました。

解体工事に先立ち、調査を行った結果、鉄骨造のうち5棟、コンクリート造のうち1棟、これらの外壁部分にアスベストが含有していることが判明いたしましたので、今後、変更が必要になる状況でございます。

以上でございます。

○塚本崇委員長 藤井課長。

○藤井連続立体交差推進課長 連続立体交差事業に関する2点のご質問に答弁申し上げます。

1点目の、減額して事業に対する遅れでございます。今年度、当初予算どおりいけば、確かに用地が8割ぐらい取得できると見込んでございました。今回、交渉の遅れと、国の配当に併せて減額するので、減額した額でいきますと80%から、権利者の割合でいきますと7割、面積で6割ちょいまで減少するのが現状でございます。

ただ、一番に始める準備工事、付替道路とか仮設駅前広場等、そういった準備工事に必要な用地の取得は、一定、見込みが立っております。工事には、若干遅れは生じていますけれども、しっかり取り組んでいきたいと思っています。

事業全体としましては、おおむね、当初のスケジュールどおり進むと考えています。

2点目の補償費の考え方です。昨年度、大阪府から直接、下水道、水道に負担するという考え方は整理していました。今年度は当初から減耗分を市の一般会計で整理をしてございました。

以上でございます。

○塚本崇委員長 嶋野委員。

○嶋野浩一朗委員 ありがとうございます。まずは千里丘駅西地区再開発です。当初からアスベストが出てくるだろうと想定され、実際に工事に入っていくと、それ以上に量があり、今回、補正を組まれたと思います。

気になるのは本当に安全にしっかりと除去ができるのかという点と、もう一つは、全体工期で当初の想定から、少し遅れが出てくるのかが気になります。その点、今の感覚で結構なので、お知らせをいただきたいので、よろしく願います。

それと、連続立体交差事業です。今、答弁をいただき、準備工事等については順調に進んでいると理解をいたしました。この準備工事については、基本的にスケジュールどおりに進むことは、恐らく多くの皆さんも想定されていたと思うんです。問題になってくるのは、実際に人と人との関係性です。そこで、移転交渉とか、どうやって同意をいただくのかについては、当初、計画を立てていたとしても、若干の遅れが出たりはあると思います。ただ、そこについては、いろいろ協力もいただきながら、例えば千里丘駅西地区再開発でも順調に進められてきた実績があります。そこは一回アドバイスも聞きながら進めていただきたい。その点については強く要望をさせていただきます。

支障物件についても、当年度については、当初から取り組んでいたところですが、ただ、この点は実際にやってみないと分からないところはあると思っています。引き続きしっかり取り組んでいただきたい。1点だけお聞かせください。

○塚本崇委員長 杉山課長。

○杉山都市計画課長 まずアスベストの

処分に関してでございます。アスベストの処分に関しましては、特に飛散防止が重要になってまいります。作業に当たりましては、湿潤を行うことが基本になります。現地は府道沿い、また交差点部で自動車も自転車も歩行者も非常に通行量が多いので、飛散防止対策、シートなどの使用を、しっかりとやってまいりたいと考えております。

続いて、工程についてです。当初、令和6年5月までを工期として解体工事を進めております。アスベストの対応に伴い、恐らく令和6年の秋ぐらいまでかかるかもしれないと見込んでおります。実際には解体工事等々が終わってから建築工事に入っていきます。現在、協議、調整しているところで、同時に進められる内容もございます。遅れが生じないように、最小にできるように調整しているところでございます。

以上でございます。

○塚本崇委員長 嶋野委員。

○嶋野浩一朗委員 アスベストの除去については、まずは安全にやっていくのが一番大事だというのは、もう皆さん、ご理解をされていると思います。その結果、若干スケジュールの狂いが生じてくるのは、ある程度やむを得ないと思っています。今、ご答弁いただいたように、それと併せて並行してできるところからやっていくのは、大事だと思っています。できるだけ、工期スケジュールも気にしながら、安全にやっていただきたいと申し上げて終わります。

○塚本崇委員長 以上で質疑を終わります。

暫時休憩いたします。

(午前10時15分 休憩)

(午前10時17分 再開)

○塚本崇委員長 再開いたします。
討論に入ります。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○塚本崇委員長 討論なしと認め、採決をいたします。

議案第68号所管分について、可決することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手する者あり)

○塚本崇委員長 全員賛成。

よって、本件は可決すべきものと決定いたしました。

これで、本委員会を閉会いたします。

(午前10時17分 閉会)

委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

駅前等再開発特別委員長 塚本 崇

駅前等再開発特別委員 南野 直司